

■メッセージ HARD 挽き板 ヘリンボーン コンクリート下地用<一般用>

- ・このたびは、弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には、施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき、安全でより美しい仕上がりに施工していただくため、施工前に必ず本書をご一読くださいますよう、お願いします。

安全上のご注意



注意

※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

- ・接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- ・接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。守らない場合、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

- ①この商品は、土足用（内装）の床材です。
屋外及び重歩行※にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。
※重歩行用：歩行者が極端に多い箇所（目安:10,000人/日以上以上の歩行通行量、例:百貨店出入口・駅改札口等）
- ②この商品は、**床暖房放熱部の上には施工しないでください。**
放熱部に使用すると、床暖房使用時にひび割れ、スキなどの不具合が発生することがあります。
- ③直射日光に当たったり、雨に濡れるところ、湿気の多いところでは保管しないでください。
長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、ひび割れ、はがれなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
- ④この商品は接着工法のため、**必ず指定の接着剤をご使用ください。**
指定以外の接着剤を使用すると、フローリングの位置固定が難しく、ズレが生じたり、施工後、床鳴り（踏み鳴りなど）や接着不良等のトラブルの原因となります。
- ⑤施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、杳柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
- ⑥施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具（保護めがね、防じんマスクなど）を使用してください。
- ⑦フローリングカット時は、記載の方法に従ってカットしてください。カットの方法によっては、化粧材が欠ける可能性があります。
- ⑧ワックスを塗布されますと、フローリングの表面がワックスの被膜となるため、傷のつきにくさ、抗菌・抗ウイルス性（抗ウイルス性能を付与したフローリングのみ）等の塗膜性能が発揮されなくなります。

1 施工前の準備

1 梱包内容

①フローリング 製品仕様

(Aタイプ)



(Bタイプ)



巾90mm

長さ428.5mm

サイズ：厚み12mm x 巾90mm x 長さ428.5mm (裏溝あり)

- ・本商品は、上図のように裏の向きが異なるA・Bタイプ 二種類のフローリングで構成されています。1梱包内に二種類が20枚ずつ同梱されています。

2 使用する接着剤

- ・必ず下記の指定接着剤をご使用ください。

メーカー名	商品番号	使用量の目安	可使用時間	作業温度範囲
朝日ウッドテック(株)	SIKABOND-58(日本シーカ(株)製) (ソーセージタイプ 600mL/本 20本入)	450g/m ² 0.5坪/本	30分	5~35℃

※なお、ご使用にあたっては、接着剤に記載の使用上の注意を良く読んで正しくご使用ください。

- ・接着剤の塗布は、600mLソーセージタイプ用ハンドガンをご使用ください。

メーカー名	商品番号
朝日ウッドテック(株)	HS600(日本シーカ(株)製) (600mLソーセージ用ハンドガン)

※600mLソーセージタイプ用ハンドガンであれば、上記以外のものでも使用可能です。

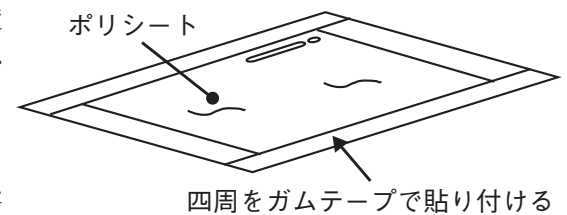
例：セメダイン(株)プロソーセージガン550XA-691、ピーシーコックス日本販売(株)ミディフローガンコンビ600mL。

2 施工下地の確認

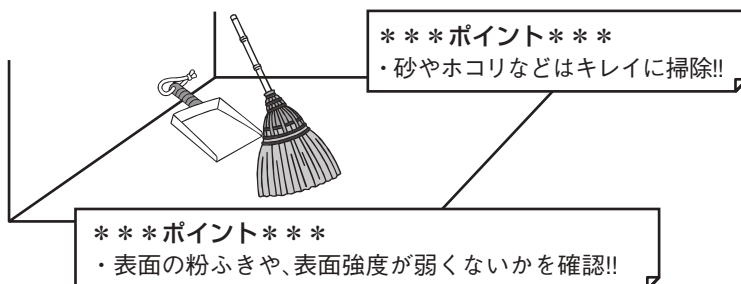
1 コンクリートスラブの乾燥状態を確認してください

- ・打設後、3週間以上経過しており、最も乾燥しにくい部分に、1m×1m程度のポリシートの四周を布テープ（ガムテープ）止めで被覆密閉し、24時間以上放置後、シート下の材面が黒く変色していないこと。
(日本複合・防音床材工業会「防音直張り床材の施工に関する遵守事項」より)

表面が乾燥していても、内部が乾燥していない状態で施工すると、施工後の床鳴り、突き上げ、波打ち、接着不良の原因となります。

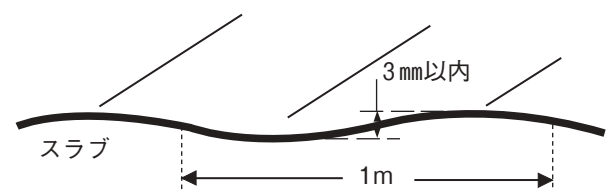


2 スラブの表面状態



- ・下地の表面に粉ふきが多いものや、表面強度が弱い場合は、接着不良やはがれが発生する場合がありますので、事前に確認してください。

3 スラブの不陸精度



- ・不陸は1mにつき3mm以下としてください。
床暖房パネル等の段差は1mm以下にしてください。
- ・下地のレベルが確保できていないと、施工時の接着不良、不陸や段差の表面への映り、歩行時の違和感を生じることがあります。
- ・廊下とリビングの境界部の段差には特に注意してください。

3 施工の手順

手順1 美しく、バランスよく並べる。

1 仮並べ



- ポイント** ・施工する前に必ず仮並べを行い、色の濃淡・杓柄などが部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。
天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。

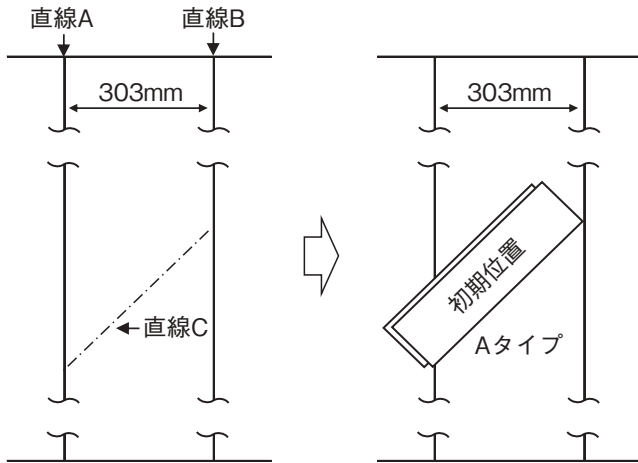
手順2 墨出し・割り付け

- ・墨出しは直線A・B、さらに各直線から間取り中央部分に45°の角度で直線Cを引きます。各直線を目安にして、フローリングの頂点が各直線の交点と一致するように実施して下さい。
- ・割り付けは、実の向きが異なるA・Bタイプが直交するように配置します。

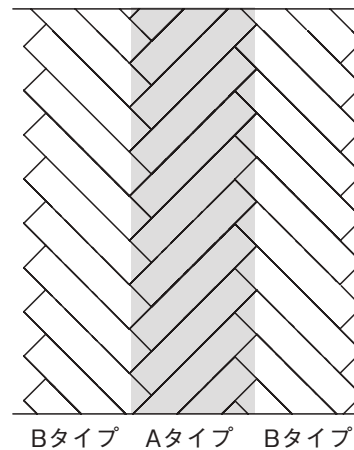


- ポイント** ・フローリング貼り始めは、間取り中央からを推奨しております。
間取り中央から貼り進めることで、部屋の周囲にスキ間を設けることが可能です。

(墨出し)



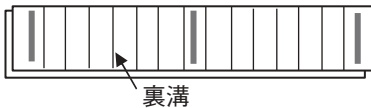
(フローリングの割り付け)



手順3 しっかりと接着剤を塗布する。

1 接着剤の塗布

(Aタイプ)



(Bタイプ)



■ …接着剤塗布箇所

接着剤の太さは6mm以上



- ・接着剤は、1枚につき3箇所、フローリングに直接塗布してください。接着剤は、太さが6mm以上になるよう、1穴ノズルをカットして、塗布してください。
※塗布する際は、裏溝を避けて塗布してください。
- ・使用する場所の温度が5℃以下では、硬化が進みませんので、冬季に施工される場合には、あらかじめ、施工下地を暖める等の処置をおすすめします。
- ・接着剤が硬化するまでは、注意してフローリング上を歩いてください。未硬化の場合はフローリングがずれたりし、スキ・はがれの原因になります。
- ・フローリングの表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布で拭き取るか、アルコールを含ませた布ですぐに拭き取ってください。
※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。

手順4 フローリングの施工

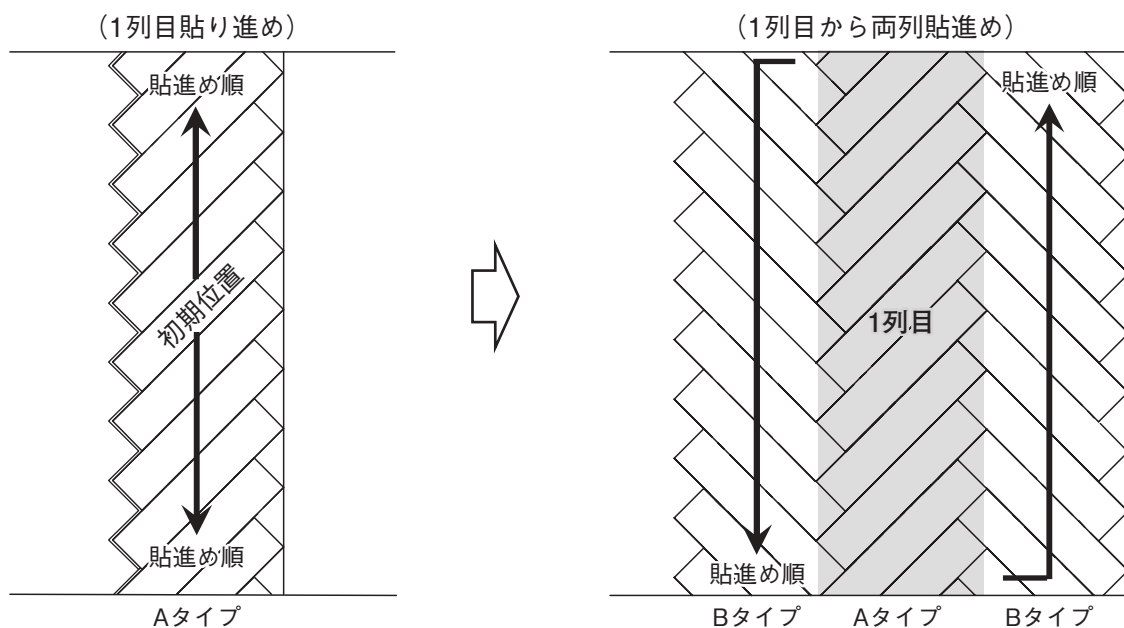
フローリングの伸縮を吸収するため、必ず部屋の周囲にスキ間を設けて施工してください。

また、施工後は室内に湿気がこもらないように適度に換気を行ってください。直貼りフローリングは吸放湿により伸縮するため、施工条件や使用環境によっては、表面に波打ちが発生する可能性が高くなります。

- ①隣り合うフローリングを足で踏んだり、ゴムハンマーでたたき込むなどして強く寄せすぎないようにしてください。（フローリングのジョイント部は軽くふれる程度に寄せて下さい）
- ②フローリングをずらしながら寄せると、接着剤をかき取ってしまい、はがれの原因となります。

・フローリングの施工手順

- ①約2時間養生し、初期位置のフローリングがしっかり固定されていることを確認した後、1列目を施工してください。
- ②1列目を貼り終わり後、約2時間養生します。
- ③約2時間養生し、1列目のフローリングが固定されていることを確認した後、1列目両列からBタイプを折り返して貼り進めます。

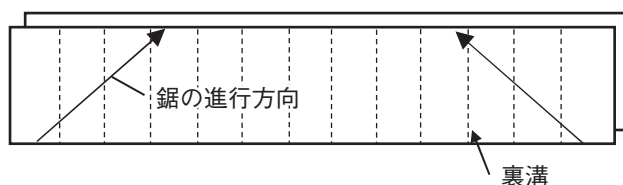


・フローリングのカット方法

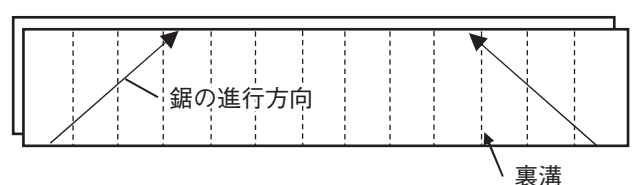
丸鋸等で、フローリングをカットする際は、化粧面を裏面に向けて、鋸が長手方向のオン実には抜けるようにカットしてください。（表面化粧材のトビ防止のため）

また、丸鋸付属のバイス等でフローリングを固定してカットしてください。

(Aタイプ)



(Bタイプ)

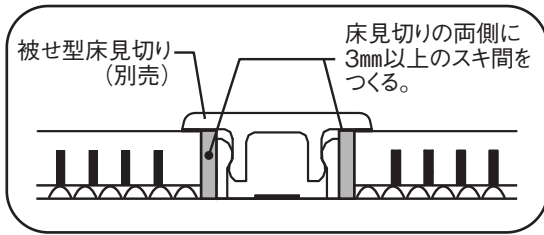


手順5 部屋の周囲にスキ間を設ける

・部屋の周囲には、以下のように可能な限りスキ間を設けて施工してください。

(1) 見切り材を使用する場合

見切り材の両側に3mm以上のスキ間をつくります。

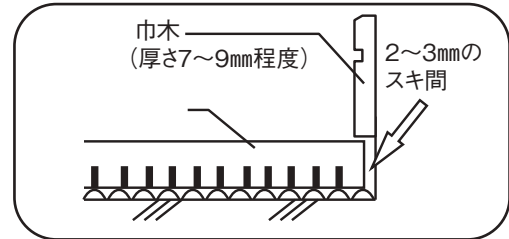


被せ型床見切り(別売品)をご用意しております。
(弊社営業までお問い合わせ下さい。)

(2) 巾木を使用する場合(巾木は後付けにしてください)

長さ方向の巾木下に2~3mmのスキ間をつくります。

*ソフト巾木はスキ間をカバーできないので、
ご使用にならないでください。



・巾木は後付けにしてください。

手順6 施工後も美しく

1 施工後のご注意

・施工用接着剤が固まってから、フローリングを寄せることは止めてください。

2 養生

- ・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフローリングの間に、ゴミなどが無いようにフローリング表面を、必ず掃除してください。
- ・養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変わる場合があります。
- ・養生シートは平面(フラット)タイプをご使用ください。凹凸(エンボス)タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。
- ・養生テープは当社別売の養生テープ(YT-T3)をご使用ください。梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フローリングの化粧面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

4 お引き渡しまでの間のご注意

1 換気についてのご注意

- ・当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気につとめてください。
- ・換気することにより、湿気が室内にこもらず、突き上げ等の対策となります。

2 水濡れ等に対するご注意

【お願い】 工事完了後は、雨水に濡らさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水濡れした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、膨れや変色などになることがあります。

5 使用上のご注意

1 暖房機器に関するご注意

- ・温度上昇により、ひび割れ、スキなどの不具合が生じる場合がありますので、床暖房やホットカーペットのご利用はできません。

2 汚れに関するご注意

- ・毛染め剤、パーマ液、靴墨の汚れは一度付着すると拭き取ることができない場合があります。使用する場合はビニールなどでフローリングをカバーしてください。

【工事業者様へ】 施工終了後、この施工説明書はクリーニング業者様へお渡しください。

■ワックスについて

・フリーワックス仕様になっておりますので、ワックスがけは必要ありません。

・ワックスがけを希望される場合、ワックスがけは可能です。

但し、ワックスを塗布されますと、表面の平滑性・艶の変化などが発生し、フローリング表面の美観を損ねることがあります。また、フローリングの表面がワックスの被膜となるため、傷の付きにくさ、抗菌・抗ウイルス性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。

・ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。
また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお勧めします。

(推奨ワックス)



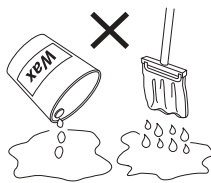
- ・ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。
- ・ロウタイプは使用しないでください。

UV塗装品			
メーカー名	ワックス商品名	業務用	家庭用
(株)リンレイ	ハイテックフローリングコートつや消し20	○	—
	ハイテックフローリングコート	○	○

ワックス使用時の注意事項

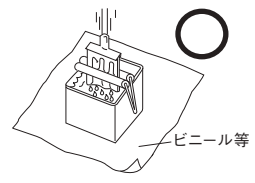
・ワックスは絶対にフローリングの上に流さないでください。

フローリング面にワックスを流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると、部分的にフローリング表面の美観を損ねることがあります。



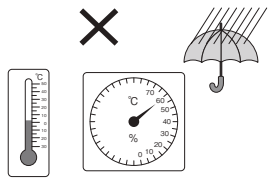
・ワックスはきれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞ってフローリング面にムラなく塗りひろげてください。

・容器の下にはビニール等を敷いてください。



・室内の温度が5℃以下の時や雨の日で湿度が極端に高い時はワックスは使用しないでください。

フローリングの表面が白っぽくなる原因となります。



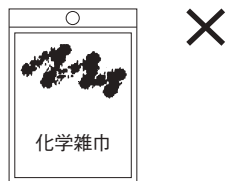
・ワックスがけの際は、換気を行ってください。

湿気がこもり、ムラ等の原因になります。

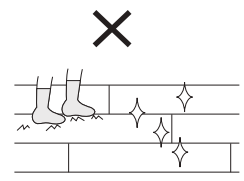


・ワックスがけの前後で化学雑巾は使用しないでください。

フローリングの表面が白っぽくなる原因となります。

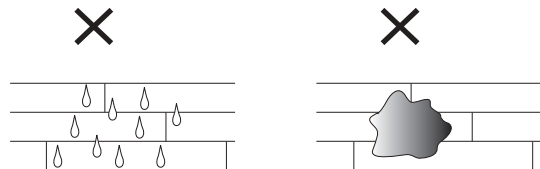


・ワックスを厚く塗りすぎると、歩行時にワックスの被膜の割れる音が発生することがあります。



・ワックスをかけるときは、フローリング面が十分に乾燥している(水気がない)ことを確認してください。

・フローリング用洗剤を使用する時は、洗剤分がフローリングに残らないように拭き取ってからワックスを塗ってください。



WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京千葉・東関東チーム) 03-5569-5512

支店 神奈川チーム 03-5569-7701

東部特需ユニット 03-5569-5513

東部集合ODMユニット 03-5569-5514

パブリックスペース推進部 03-5569-5514

大阪(大阪チーム) 06-6245-9501

本社 西部特需ユニット 06-6245-9502

西部集合ODMユニット 06-6245-9503

パブリックスペース推進部 06-6245-9501

アメニティリビング営業部 072-222-6902

北海道(札幌) 011-207-1177

東北(仙台) 022-287-0145

北関東(上尾) 048-775-0471

東京西(府中) 042-361-3634

名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830

中四国(岡山) 086-897-3791

九州(福岡) 092-481-5228